和束町・笠置町・南山城村
2006 JUNE
編集・発行 相楽東部広域業務連携協議会
印刷 共栄会社印刷所
NO.2
広報 れんけい

山城南医療圏における小児救急医療体制について

山城南医療圏において、休日の当直体制を確保する「小児救急医療体制」を下記のとおり実施されることになりましたので、お知らせします。

【実施体制】

公立山城病院と医聖会学研都市病院の輪番制により休日の小児救急医療体制を確保。

曜日等	当番病院	時間帯	問合せ先
土曜日	学研都市病院	午前8時30分～翌日午前8時30分	0774－98－2123 渡部担当小児科医
日曜日及び祝日	公立山城病院	午前8時30分～翌日午前8時30分	0774－72－0235 辻井小児科部長

放送大学教養学部 大学院10月入学生募集

対　象…学部全科履修生、大学院修士選科・科目生＝満18歳以上の人。学部選科・科目履修生＝満15歳以上の人。入学試験はなし。

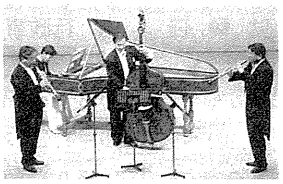
出　願…8月15日必着

問合せ…同大学奈良学習センター（☎0742-20-7870・奈良女子大学コラボレーションセンター3階）へ。

平成18年4月1日から奈良女子大学に移転しました。

やまなみホールイベント情報

The 14th YAMANAMI INTERNATIONAL MUSIC FESTIVAL 第14回木津川やまなみ国際音楽祭 ～名曲への誘い～



日　程　7月22日(土)・23日(日)

場　所　南山城村文化会館　やまなみホール

プログラム
- ■7月22日(土) 午後7時開演　オープニングコンサート
- ■7月23日(日) 午後2時開演　ジョイントリサイタル　名曲の嵐
- ■7月23日(日) 午後6時30分開演　オーケストラコンサート

チケット　3,000円　高校生以下2,000円

3公演通し券　7,000円　高校生以下5,000円（全席自由席・電話予約可）

青少年のための楽器物語と名曲コンサート

7月22日(土) 午後2時開演

◆国際音楽祭出演アーティストによる、小中学生を対象とした数々の名曲と、楽しいお話で綴るアンサンブルコンサート
- ■白鳥の湖からトトロまで（楽器紹介）
- ■サウンド・オブ・ミュージック　他

※クラシックは初めてという方にも、気軽にお聴きいただけるコンサートです。

◆入場料　小中学生：無料　高校生以上：500円(小学1～3年生は保護者同伴でご鑑賞ください)

問合せ：南山城村教育委員会　電話0743－93－0580　相楽郡南山城村北大河原久保8番地

笠置町
人　口　1,936人　(－7)
世帯数　711世帯(±0)
〒619－1393
京都府相楽郡笠置町大字笠置小字西通90－1
Tel　0743－95－2301
Fax　0743－95－2961
http://www1.kcn.ne.jp/~kasagi/

和束町
人　口　5,213人　(－19)
世帯数　1,717世帯(＋2)
〒619－1295
京都府相楽郡和束町大字釜塚小字生水14－2
Tel　0774－78－3001
Fax　0774－78－2799
http://www.town.wazuka.kyoto.jp/

南山城村
人　口　3,581人　(－6)
世帯数　1,206世帯(＋1)
〒619－1411
京都府相楽郡南山城村大字北大河原小字久保14－1
Tel　0743－93－0101
Fax　0743－93－3030
http://www.vill.minamiyamashiro.lg.jp

人口・世帯数は、平成18年5月1日現在。(　)は対前月比。

住所：〒619-1393 京都府相楽郡笠置町大字笠置小字西通90－1
TEL：0743－95－2301 FAX：0743－95－2961

R100
古紙配合率100%再生紙を使用しています

広報

れんけい

RENKEI

2006/6月

第3号

発行　相楽東部広域業務連携協議会

澄みきった青空の下でみずみずしい新芽を乗用型摘採機で収穫

相楽東部、和束・南山城を代表する特産品“お茶”。
その“味”と“香り”は多くの方から高い評価を得ており品質は日本一。
伝統を引継ぎ、生産者が創意工夫を重ねられた銘茶の産地です。
この豊かな自然の中で育み生産された“美味しい・安全・安心”のお茶！

●目　次●

相楽東部広域業務連携協議会設立 ……2
むら・まち情報(南山城村) ……5
むら・まち情報(和束町) ……8
むら・まち情報(笠置町) ……11
地域情報 ……14

相楽東部広域業務連携協議会設立

4月に設立しました「相楽東部広域業務連携協議会」は、相楽郡東部地域の笠置町、和束町、南山城村の3町村が今日の厳しい財政危機を乗り切るための一施策として、行財政運営の効率化を図り、広域的な業務連携を推進し、住民サービスの水準を確保することをねらいとして設置された協議会です。

設立会議では、協議会設立に至った経過報告をはじめ「協議会規約」などが承認されました。

設立会議の内容は、次のとおりです。

（設立会議）

1　相楽東部広域業務連携協議会の設立について

笠置町、和束町、南山城村による行財政運営の効率化を図るため三町村において広域的な業務連携施策を検討し推進するための協議会規約等を定め、「相楽東部広域業務連携協議会」を設置することを承認する。

2　相楽東部広域業務連携協議会役員の選出について（協議会役員、委員名簿）下記のとおり

（議事）

1　平成18年度相楽東部広域業務連携協議会事業計画について

(1)　協議会、幹事会、専門部会の開催
(2)　各部門における業務連携の推進
(3)　事例調査研究の実施
(4)　協議会だより等の情報発信
(5)　その他協議調整活動

以上の事業計画を承認。

2　平成18年度相楽東部広域業務連携協議会予算について

総額3,185千円を承認。3町村の負担金を財源として事業の推進を図ります。

○協議会役員・委員名簿

区　分	笠置町	和束町	南山城村
町村長	中西　巖（会長）	堀　忠雄（副会長）	橋本洋一（副会長）
議会議長	坂本俊廣	小西　啓	西上清光
議会議員	石川惣代治	岩﨑宗雄	手仲圓容

○幹事会名簿

助役	山口哲志（代表幹事）	森脇美隆	森本伸一

鹿児島県から業務連携を研修!!

4月26日（水）、鹿児島県鹿児島郡町村会から、相楽東部広域業務連携協議会の業務内容を研修するために来町されました。

視察研修に来町されたのは、鹿児島県鹿児島郡の十島村・三島村の役場職員で、行政情報紙に3町村の広域業務連携事業に取り組んでいる内容が紹介されたことにより行財政改革の一環として同業務連携をはじめ島根県・東出雲町や京都府北部の伊根町を視察し、この日の笠置町での視察研修となりました。

研修にあたり、3町村を代表して笠置町の山口助役が、歓迎の挨拶を行い、続いて、協議会事務局から、3町村の現状や課題をはじめ広域業務連携に至った経過や事業計画等の説明を行いました。この鹿児島県鹿児島郡十島村・三島村は、種子島と奄美大島の間に点在し、村名どおり無人島も含めた島々で構成、十島村は、人口、600人余り、一方、三島村は、400人余りで、鹿

児島本土から南南西方向へのびる琉球列島の北部に位置し、村営のフェリーが唯一の公共交通機関で鹿児島市から定期船がそれぞれの島を結んで運航され、台風襲来のルートにもあたりそのたびに欠航されるとのことです。

説明終了後、3町村の業務連携に至った背景や業務を共同で行う手法、職員の意識改革への取り組み、将来の町づくり等について、活発な質疑や意見交換が行われ、数年後、再度視察を行い、その後の町づくりの状況を研修させていただきたいと抱負を述べられ笠置町を後にされました。

相楽東部広域業務連携協議会規約（抜粋）

（協議会の目的）

第１条　この協議会（以下「協議会」という。）は、笠置町、和束町及び南山城村の行財政運営の効率化を図るため、当該町村において広域的な業務連携を推進し、住民サービスの水準を確保することを目的とする。

（協議会の担任する事務）

第４条　協議会は、次に掲げる共同処理に関する事務の管理及び執行並びに連絡調整を行うものとする。

(1)　総務に関する事務
(2)　税務に関する事務
(3)　教育に関する事務
(4)　土木建築に関する事務
(5)　環境衛生に関する事務
(6)　保健福祉に関する事務
(7)　教育委員会の共同設置に関する事務
(8)　一部事務組合の設置に関する事務
(9)　前各号に規定する事務以外の事務のうち共同処理したほうが効率的な行財政の運営が図れると考えられる事務

（協議会の組織）

第６条　協議会は、会長、副会長２人及び委員６人をもってこれを組織する。

（委員）

第９条　委員は、次の者をもってこれに充てる。

(1)　関係町村の議会の議長
(2)　関係町村の議会から選出された議員

（幹事会）

第12条　協議会に提案する必要な事項について協議又は調整するため、協議会に幹事会を置くことができる。

2　幹事会の組織及び運営に関し必要な事項は、会長が別に定める。

（専門部会）

第13条　第４条各号に掲げる事項を専門的に協議するため、協議会に専門部会を置くことができる。

2　専門部会の組織及び運営に関し必要な事項は、会長が別に定める。

（協議会の会議）

第15条　協議会の会議は、協議会の事務の管理及び執行に関する基本的な事項を決定する。

（経費の支弁の方法）

第18条　協議会の事務の管理及び執行に要する費用は、各関係町村が負担する。

2　前項の規定により関係町村が負担すべき額は、協議会の会議で定める。

3　関係町村は、前項の規定による負担金をすみやかに、協議会に交付しなければならない。

附則

この規約は、平成18年４月３日から施行する。

住宅用火災警報器の設置が義務化されました！

消防よりのお知らせ

新築住宅→18年６月１日から設置しなければなりません
既存住宅→23年５月31日までに設置しなければなりません
＊詳細については、来月以降に消防より住宅用火災警報器専用の広報紙にてお知らせします。

平成17年における全国の火災件数

出火件数は、合計57,487件で日本のどこかで１時間に７件弱の火災が発生しています。

出火原因については、１位放火、２位こんろ、３位たばこ、４位放火の疑い、５位たき火となり都市部に放火・放火の疑いが多い傾向となっています。

住宅火災だけの出火原因は、１位こんろ、２位たばこ、３位放火となっており相変わらずてんぷら鍋等が原因の火災が多い結果となっています。

相楽中部消防組合消防本部管内町村別出動状況（１～４月合計）

	木津町	山城町	加茂町	笠置町	和束町	南山城村	計
火　災	1	1	2	0	1	2	7
救　急	438	124	224	44	97	58	985
救　助	7	3	0	0	2	2	14

梅雨の時期になります！

＊集中豪雨による洪水・土砂災害には注意しましょう！
＊日頃から危険箇所等を調べておきましょう！

平成18年度全国統一防火標語「消さないで　あなたの心の　注意の火」

相楽中部消防署　TEL 0774－72－2119　相楽東部消防署　TEL 0743－95－2075

＊水防は、こころの備えとみんなの守り＊

桂川・宇治川・木津川合同水防演習

5月14日に桂川河川敷で各種団体の参加のもと、市町村からは、消防団が演習に参加しました。今回の目的は、水害から住民の生命、財産を守るため、水防演習を実施することにより、災害時における水防活動の実効を期し、水防思想の普及の徹底を図り、水防に対する住民の理解と協力を深め、水害の未然防止または軽減に資することでした。笠置町、和束町、南山城村消防団は、土のう作り、杭ごしらえの後、積み土のう工法に取り組みました。

6月11日午前2時から　市外局番・市内局番が変わります

変　更　内　容

田山・高尾以外の地区

	市外局番		市内局番		
	07439	－	3	－	□□□□
から					
	新市外局番		新市内局番		
	0743	－	93	－	□□□□

田山・高尾地区

	市外局番		市内局番		
	07439	－	4	－	□□□□
から					
	新市外局番		新市内局番		
	0743	－	94	－	□□□□

ご注意ください！

◎　**現在お使いの電話機やＦＡＸを取り替える必要はありません。**
「使用中の電話機は使えなくなる」など事実に反する説明をして、電話機などの購入を迫る悪質なセールスにご注意ください。

◎　**印刷物・広告物の印刷量などに注意し、計画的な発注をお願いします。**
市外局番や市内局番の変更に伴う印刷物の変更などの費用は個人負担になります。

◎　**今回の市外局番や市内局番の変更に伴って料金（回線使用料・ダイヤル通話料など）が変わることはありません。**

準備しておきましょう

1　印刷物・広告物に電話番号を表示している場合
⇒パンフレットや名刺などの印刷物、看板などの電話番号の変更

2　電話機・ファクスなどの「短縮ダイヤル登録」や「ワンタッチダイヤル登録」など、またＩＳＤＮ回線用ターミナルアダプタ（ＴＡ）に、変更対象地域の電話番号を市内局番から登録している場合
⇒事前に市外局番から電話番号を登録しなおすか、電話番号変更後に登録変更してください。変更方法は、電話機などの取扱説明書をご覧いただくか、販売店へお問合せください。

3　インターネット利用でアクセスポイントに変更対象地域の電話番号を市内局番から登録している場合
⇒事前に市外局番から電話番号を登録しなおすか、電話番号変更後に登録変更してください。変更方法は、インターネットプロバイダの設定など、説明書をご覧いただくか、インターネットプロバイダ会社へお問合せください。

問合せ　○総務省　近畿総合通信局情報通信部電気通信事業課
電話　０６－６９４２－８５１８
○ＮＴＴ西日本 みやこ支店
電話　０１２０－０３３９９４

お茶博士めざして
南山城小児童が茶摘みと加工を体験

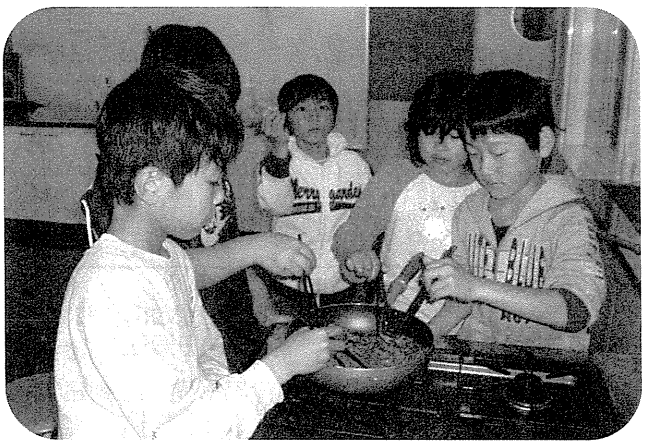
南山城小の3年生30人が、地場産業に親しもうと茶葉がお茶になるまでの工程を体験しました。児童は5月16日、奥北博男さん（田山南部共同製茶組合員）所有の茶畑で、谷口克彦さん、直美さんご夫妻（同組合員）の指導のもと、茶摘みと摘んだ茶葉の加工を体験しました。

摘んできた茶葉は、蒸し器で蒸したあと手揉みして丸めたものをフライパンで炒りながら乾燥させます。おいしそうなお茶の香りや茶葉が針状に形を変えていくようすに、児童は大喜びでした。

この体験は総合的な学習の時間を使って行われたもので、3年生では、地場産業への理解を深めることを目的とし、「お茶博士になろう！」をテーマにお茶についての学習を児童自らが提案し進めていて、次回は茶工場見学が予定されています。

村の子どもたちがお茶の知識を深めることで、地域の産業やふるさとへの愛着が自然と生まれ、将来の産業振興などにつながっていくことが期待されています。

一生懸命プチプチと新芽を摘む子どもたち。
お茶の新芽の柔らかさや鮮やかな黄緑色に驚く声も。

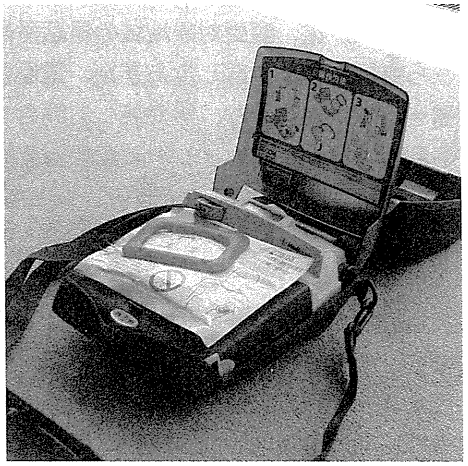


茶葉をフライパンの上で炒りながら乾燥させているようす。
「お茶になるまでどれだけ苦労しなければならないかがよくわかった」という感想も出てきました。

自動体外式除細動器
AEDを設置しました

教育委員会では、5月2日、南山城村文化会館やまなみホールと南山城小学校にAED（自動体外式除細動器）を設置しました。

施設内で突然倒れてしまったとき、救急車が到着するまでの数分間に一般の方でも適切な救命処置が行えるので安心です。（※併せて、心臓マッサージ・人工呼吸を継続して行うことが不可欠です。）



AEDとは？

心臓突然死の主な原因に、心筋の動きがバラバラになり心臓のポンプ機能が失われる「心室細動」があります。このとき最も効果的な救命処置といわれているのが、強い電気ショックを与えて心筋のけいれんを除去する「電気的除細動」で、これを自動的に行うのがAEDです。

AEDは操作に高度な専門知識を必要としないので、一般の方でも簡単に操作できます。音声ガイダンスにしたがって、電極パッドを傷病者の胸部へ貼り付けると、機械が自動的に心電図を解析して電気ショックを与えるべきかを調べます。電気ショックが必要と解析された場合は、機械の指示にしたがってスイッチを押すだけで電気ショックを与えることができます。

南山城村を全国に発信！NHK旅するラジオで

4月21日、やまなみホール駐車場にラジオ生中継車『80（はちまる）ちゃん号』がやってきました。

この番組は、「日本全国の街からふるさとの元気をお届けします。」と日曜を除いて11時30分から20分間放送されているものです。

出演されたお茶農家の北本錦司さん・勝美さんご夫妻は、日頃取り組んでおられる機械化や後継者育成などを通じて、栽培量を増やしていこうと宇治茶の産地である南山城村のお茶を大きくＰＲ！

続いて、やまなみホールのイベントや農林産物直売所の特産品・加工品についても紹介されました。

中継車前には、直売所加工グループの女性や茶業青年などたくさんのみなさんが駆けつけて声援をいただき、終始、元気で和やかなムードが伝わる生中継となりました。

青少年ふるさとわくわく体験エコクラブ 今年度活動に34名が参加

南山城村青少年ふるさとわくわく体験エコクラブは、小中学生のメンバーとサポーター（地域のボランティア）からなるグループで、子どもたちが山や川など自然の中で、直接見たり、聞いたり、触ったり、遊んだりしながら、自然の大切さや環境について学ぶことを目的に活動しています。

新しく16名のメンバーを迎え、34名でスタートした今年度第1回目の活動は、5月20日、南山城小学校近くのエコの里で生物の観察をしたり、湿地に入ってどろんこ遊びをしたりして新メンバーとの交流を深めました。

―○―○―○―○―

エコクラブサポーターを募集しています

子どもたちの環境学習や自然体験活動をサポートしていただける方を募集しています。

やってみたい・興味のある方は南山城村教育委員会（☎：0743-93-0580）までご連絡ください。

春の訪れにわくわく 今年もにぎやかに“サクラまつり”

農林産物直売所では、周辺のヤエザクラ並木がほころびかけた4月22日、春の〝サクラまつり〟が行われ、レジ待ちの行列ができるなど多くの観光客らでにぎわいました。

焼きもちやほうじ茶の振る舞いは大人気で、炭火焼きシイタケ、ポン菓子の実演販売には、毎年こられるリピーターの姿も。

ヤエザクラの木の下で舌鼓をうつ家族連れや木津川の川辺を散策される方など村の春を満喫されていました。

風薫る　新茶の季節です

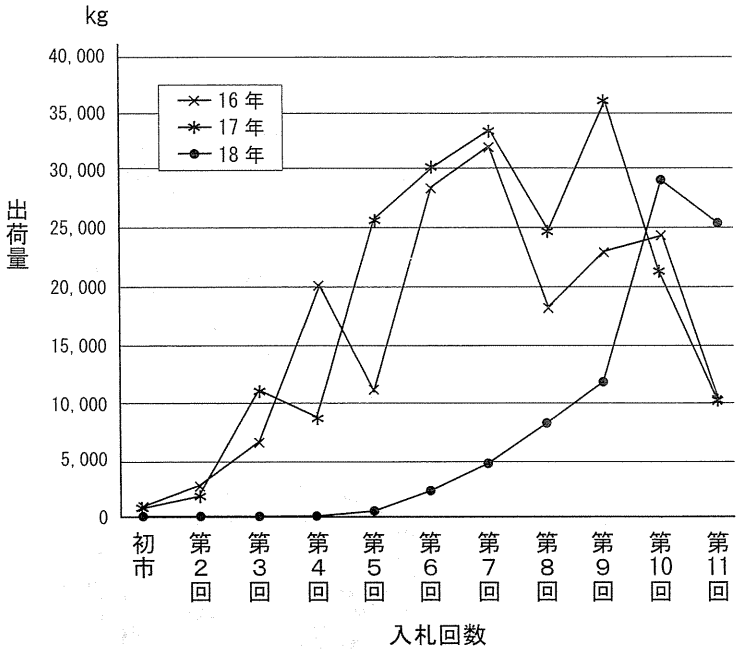
4月4日、京都府立茶業研究所は例年より2日早い(昨年比7日早い)一番茶の萌芽を宣言しました。萌芽後の芽の生育も気象予報から順調と予想され、摘採期も平年よりやや早くなると予想していました。

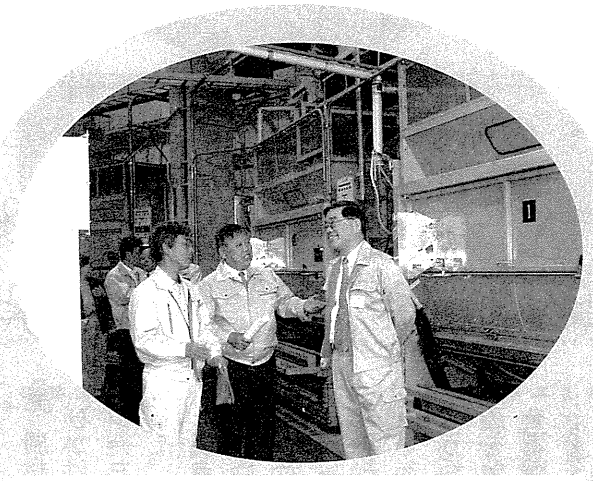
しかし、4月上旬の低温障害、ゴールデンウィーク後の日照不足などの影響から、当初予想していた以上に芽の生育が悪く、平年に比べて5～10日の遅れとなり、特に早生品種についての遅れと芽立ちの荒さから、収量については3～5割近く減収となった農家もありました。

価格については、収量が少ないことから平均で2～3割高で推移しました。

(平成18年5月18日現在の状況です。)

ＪＡ全農京都茶市場での和束町の出荷量
(煎茶(かぶせ茶含む))





◎ 広域振興局長激励訪問(5月15日)

奥原山城広域振興局長と堀町長、小西町議会議長が白栖共同製茶工場を訪れ、一番茶生産に精を出す農家を激励されました。

奥原局長らは、組合員と町職員から今年の茶の生育や製茶状況の話を聞いた後、工場内を見学し、身体に気をつけてがんばってくださいと組合員に声をかけられていました。

奥原局長はこの日、管内の製茶工場を、堀町長と小西町議会議長は町内の製茶工場をそれぞれ激励に巡回されました。

◎ 初市(4月26日)

城陽市にあるＪＡ全農京都茶市場で平成18年産茶の初市が開かれました。

今年の初市は昨年に比べ2日早く開かれ、近年になく少ない出荷量で、煎茶23点、24.75kgの出荷があり、このうち、和束町からは煎茶10点、10.9kgが出されました。

和束町から出されたお茶は和束茶手揉技術保存会から出された手揉み茶の1kgあたり66,000円を最高に、平均31,434円で取引されました。

◎ ボランティアで出品茶（5月14日）

近頃、お茶と言えばペットボトル。その「手軽さ」とは対極にある「本格派」の急須で飲むお茶をもっと身近に感じてもらいたい。そんな思いから、今回、関西茶品評会に出品するお茶をみんなで手摘みしようと、広く一般から参加者を募集しました。

テレビや新聞での呼びかけに京都府内外から約30人の応募があり、当日は地元の摘み子さんたちと一緒に楽しみながら茶摘みに励みました。

◎ お茶の里“満喫”イベント（5月13日）

和束町で、こだわりのお茶作りに精だし頑張っている“ほっこりサークル”が、お茶を満喫できるイベントを開き、国内外から57人の参加者が集いました。

この日はあいにくの雨で、予定していた茶摘みや、田舎ウォークは中止となりましたが、茶香服体験やホットプレートを使用した簡単手揉み体験などで、新茶の薫る和束町を満喫できるイベントとなりました。

◎ 茶のまち和束に注目！（5月6日）

テレビ大阪の番組「みみヨリぃ」の、石田靖さんと桑原征平さんが「ちゃかふく」を求めて和束町を訪れました。

茶娘たちと茶摘みをしていた上嶋伯協さん（白栖）が、新茶で2人に茶香服～ちゃかふく～を実演、和束茶をPRしました。（5月14日放映）

また、KBS京都の番組「deちゅう」が、テレビ大阪に続いて、上嶋伯協さんの茶畑から生中継されました。

茶娘に扮したアナウンサーの村上祐子さんは和束町活性化センター職員から茶摘みを教わり、和束山の家の料理長からは和束茶を使った〝和束御膳〟を紹介しました。

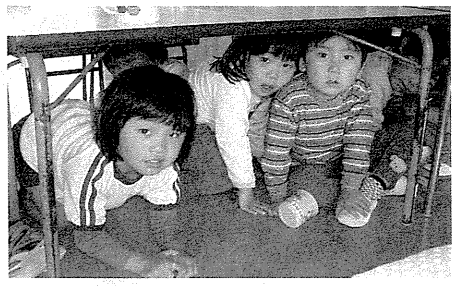
じしんだ、かくれろ！

5月18日(木)、和束保育園では、地震の避難訓練を行いました。

和束保育園では、地震や火事など非常時の対策として、毎月避難訓練を行っています。

この日は、地震発生を想定した訓練で、「地震ですよ」と館内放送が入り、保育士が「机の下に入って」と言うと、園児たちは素早く潜り込み、揺れがおさまるまでじっとしていました。

その後、「地震がおさまりましたよ」の放送で全員が園庭へ避難しました。



なに？なに？　机の下にかくれる園児たち(3歳児)

園庭に避難し、園長の話を聞く

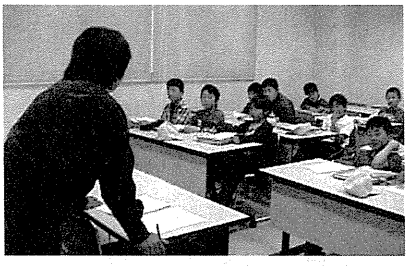
4・5歳児は慣れたもので、放送が入るとすぐ机の下に入り、保育士の合図に機敏な動きで行動しました。

一方、3歳児は初めての地震の避難訓練だったため、驚いて泣き出す子もいましたが、保育士が言葉をかけると上手に机の下に入り、園庭への移動も落ち着いてできました。

こうした普段からの積み重ねが非常時に素早く行動できることにつながります。

また、園ではビデオの上映や消防署との共同訓練なども行っていく予定です。

ゴミ分別で住みよい暮らし



センター職員からゴミ処理の説明を聞く

中央制御室ではモニターに釘付け

5月17日（水）、和束小学校の4年生が相楽東部クリーンセンターを見学しました。

4年生の社会科では、「住みよい暮らしを支える」という単元の中で「ゴミは、どのように処理され、ゴミ処理に関わる人はどんな仕事をしているのか。」について学習しています。

センターでは、ビデオでゴミ処理の基礎知識を学び、職員からの説明のあと、「一日のゴミの量はどのくらい？」「燃やした後の灰はどこへ埋めるの？」「ゴミを焼却するときの温度は何度？」など、児童たちは多くの質問をしました。

その後、中央制御室では、焼却炉でゴミが燃やされている様子や、粗大ゴミが破砕される様子をモニターテレビで見学し、児童たちは職員の説明を聞きながら興味深げに見入っていました。

児童らは、今回の見学を通じてゴミ処理の過程やそれに携わる人々について理解を深め、また、自分たちが出すゴミの分別が、リサイクルやゴミ処理に大きく関わっていること、その大切さを改めて感じることができました。

訂正とお詫び

5月号に一部誤りがありました。訂正しお詫びいたします。

9ページ　特別会計の表内（最下段）

（誤）　介護保険特別会計
（直営診療施設勘定）

（正）　介護保険特別会計
（サービス勘定）

安全な水をお届けします

和束町では、みなさんのご家庭に安全な水道水をお届けするため、水道法に基づき「水質検査計画」を年度毎に策定し、50項目の検査を定期的に行っています。

平成18年度の計画も策定し、町のホームページ(まちからのおしらせ)で公開していますので、ご覧ください。

また、平成17年度の検査結果も公開していますので、あわせてご覧ください。

なお、東部水源、仙田水源からの配水は、12月に中央水源に切り替えていますので、検査結果は11月分までを公開しております。

水道に関するお問合せは…

和束町役場建設事業課(中央浄化センター)
TEL 0774-78-0078　http://www.town.wazuka.kyoto.jp/

ケーブルテレビだより

住民参加番組のおしらせ

「住民による住民のための小さなテレビ局」に。

笠置町ケーブルテレビでは、住民の方が自主的に参加いただける番組づくりを進めています。より多くの方々が番組に関わっていただくことで、一層親しみのある、見ていただく方の心に残る番組ができればと思っています。

今回は、笠置町有線放送番組編成審議会の企画により、民話「布目川の勧請縄」の朗読を放映する予定です。放送日等は次のとおりです。皆さん是非ご覧ください。

◆放　送　日　　6月19日(月) 午後7時45分
◆放送内容　　民話「布目川の勧請縄」の朗読
◆企画・制作　　笠置町有線放送番組編成審議会

今月の“NHK京都”笠置町ケーブルテレビ

NHK京都放送局の番組で紹介される笠置町ケーブルテレビ。今月の放送予定をお知らせします。

◆放　送　日　　6月27日(火) 午後6時10分からの番組中
◆放送チャンネル　　11チャンネル(NHK京都)
◆放送内容　　笑顔と緑の笠置町〃プロジェクト2006
「花・人　ふれあい運動」
観光協会が呼びかけ、木津高校システム園芸科の協力により、笠置キャンプ場内のふれあい広場などに、笠置小学校、笠置中学校、老人クラブが一緒になり花苗を植える様子を紹介します。

※雨天等により行事が行われなかった場合は、内容を変更します。

ケーブルテレビに情報をお寄せください。

ケーブルテレビは地元に密着したより身近な情報源です。

最近、「花まつりしてますよ。」とか「菜の花畑が綺麗ですよ。見に来てください。」とか「散歩していると藤の花が沢山咲いていた。」などお知らせいただき、早速取材にいきケーブルテレビで放映させていただきました。番組をご覧になり、実際見に行かれた方から「綺麗でした。」と言われることもありました。

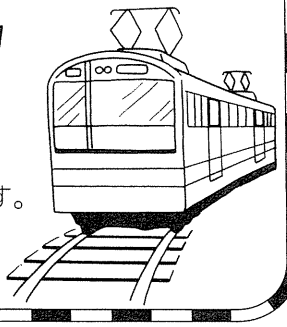
どんな小さな情報でも結構です。ご自身で撮影されたVTRや、耳より情報、ミニ情報など何でもお寄せください。

都合により取材に行けなかったり、放映のできない場合もありますが、なるべく多くの情報を取材しお知らせできるよう努めさせていただきます。

皆さんのご協力をお願いします。

笠置町総務企画課　TEL　95－2301

電化促進のため、ＪＲの切符は窓口で買いましょう！定期券は笠置駅で買いましょう！



切符を窓口で、定期券を笠置駅で購入された場合、販売手数料が町の収入となります。また、電化促進のためにもご協力をお願いします。

法明寺の花まつり［東部］

5月8日

東部地区の法明寺では、毎年5月8日「花まつり」が行われています。法明寺建立の元文5年より伝わる伝統行事です。その根源は「お釈迦さん」にあります。4月8日のお釈迦さん生誕の日に合わせて行事を行うところ、その頃はまだ花が無いため一ヶ月後の5月8日に花まつりが行われてきたのだそうです。

器の中に甘茶を入れ、真ん中にお釈迦さんの像が置かれ、甘茶を産湯としてお釈迦さんの像に掛けます。それを村の人々が汲んで家へ持ち帰り飲むという風習があります。

お釈迦さんの像の頭上には、この日参加した人たちの手により綺麗な花が飾られました。すみれ、たんぽぽ、れんげ草の三種類の花に頂上には牡丹の花。

これらの花は必ず使うとの慣わしがあり、あとは季節の花々が使われています。

花の前では、団子など手づくりのお供え物が供えられ、般若心経のお経が詠まれていました。

また、この日は特別にお釈迦さんの「寝版絵（ねはんえ）」が披露されました。

地元の人以外にあまり知られていない、古くから伝わる伝統行事「花まつり」。これからも、地元の人々により語り継がれ、伝承されていくことでしょう。

♪菜の花～畑に・・・

黄の鮮やかな色が畑一面に広がっています。

切山地区にある菜の花畑です。

小さな蜂や蝶が、花の蜜を求めて飛び交っています。

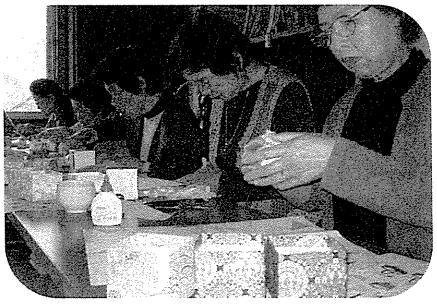
吹く風も爽やかで、心地良さを感じます。

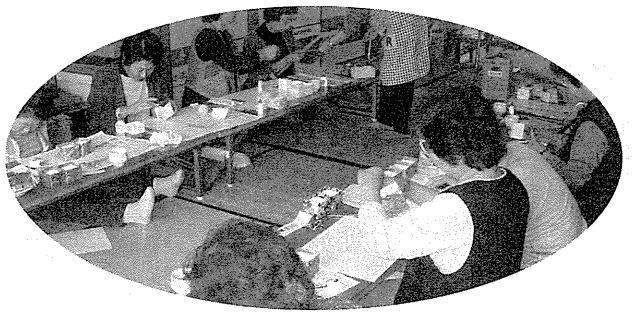
高齢者友愛訪問の作品づくり［北部］

〈北笠置北寿会女性部〉

5月14日

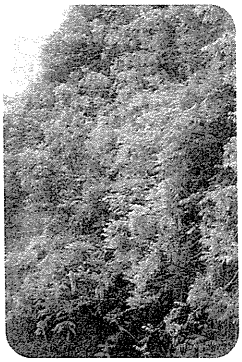
5月14日（日）、北笠置公民館では朝から地元の女性が集まり、高齢者訪問用の作品「小物入れ」づくりが行われました。これは、北笠置北寿会女性部が10年ほど前から行っている活動で、地元の80歳以上の高齢者の方が誕生日を迎えられると、この手づくりの作品を持って各家庭へ訪問しプレゼントします。訪問の際には、お年寄りの方と世間話などを通して近況を知り、コミニュケーションが図られます。このように、地元の方により心の通うあたたかいコミニュティづくりの活動がされています。





渓谷に咲く藤の花

木津川の清流に岩盤が突き出すように迫り出し渓谷が美しい旧国道163号線、現町道鹿ヶ淵線（通称七曲り）の道の両側に、藤の花がまとまって咲いていて、初夏を感じました。

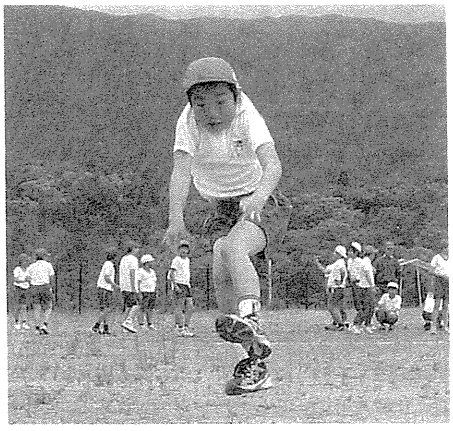


笠置町

たのしい遠足 －笠置保育所遠足－
～ 大阪・海遊館 ～ 5月19日

あいにくの雨となったこの日、笠置保育園の園児たちは、予定していた精華町「花空間けいはんな」の遠足を変更し、バスで大阪の「海遊館」へ遠足に出かけました。大きな水族館では、びっくりするぐらい大きなお魚が泳いでいて、普段は見ることのできないめずらしいお魚やきれいなお魚などを見るたびに、園児たちは歓声をあげていました。少し遠くへ出かけたバス旅行、春の楽しい一日となったようです。

児童のスポーツ交流 ＜笠置小 南山城小＞
～ 小学校東部陸上交歓記録会 ～ 5月19日



雨で一日延期となった東部陸上交歓記録会が５月19日、南山城小学校グランドで開催されました。

朝から雨が降り開催が心配されましたが、競技が始まる午後には、雨雲から時おり晴れ間ものぞくようになりました。

周りを緑の山々が包みこむグランドには、笠置小学校と南山城小学校の５・６年生の児童が集い、陸上の記録を競うとともに、スポーツを通じて両校児童の交流が図られました。100メートル走、走り幅跳び、ソフトボール投げなどの種目に挑戦し、お互いの良いところを学びあい記録の向上につなげようと、みんな力いっぱい頑張りました。最後の種目リレーでは、雨雲も吹っ飛ぶほどの熱い声援が送られていました。

カヌー体験スクール「海ぼうず」開催要項

○趣　旨　基本的なカヌー漕艇の技術を学ぶと共に、海上での活動を通して美しい自然と触れ合うことを目的とする。

○期　日　8月10日(木)から8月12日(土)まで
（2泊3日）

○会　場　京都府立青少年海洋センター（マリーンピア）
京都府立宮津ヨットハーバー

○主　催　京都府立青少年海洋センター（マリーンピア）

○対　象　京都府内在住の小学5・6年生

○定　員　20名（先着順、定員になり次第締め切り）

○参加費用　8,000円

○活動内容　カヌー漕艇

○申込み・受付方法
京都府立青少年海洋センターへ電話で申し込む。
後日、センターより参加申込書を送付する。
〒626-0068　京都府宮津市宇田井　TEL0772-22-0501
京都府立青少年海洋センター（マリーンピア）

○受付期間　7月5日(水)～31日(月)まで
午前9時～午後5時まで

遺跡の風景

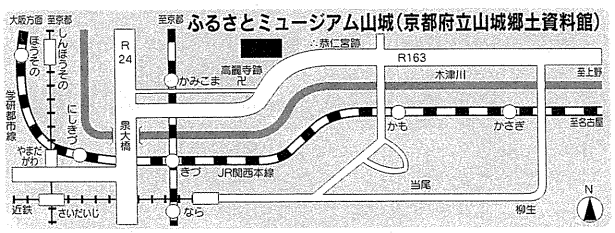
木津在住のイラストレーター早川和子氏作の南山城を中心とする遺跡の復元画を紹介し、考古学への関心をより深める機会として企画展が開かれています。

＊日　時　6月25日(日)まで　月曜日休館
午前9時～午後4時30分

＊入館料　一般200円　小中学生50円
団体割引(20名以上)一般150円　小中学生40円
※満65歳以上の方、障害者手帳をお持ちの方、小中学生等の学校教育活動の場合は無料となります。
※団体観覧の場合はあらかじめ日程等お知らせください。

＊場　所　ふるさとミュージアム山城
(京都府立山城郷土資料館)
〒619-0204　京都府相楽郡山城町大字上狛小字千両岩
TEL 0774-86-5199　FAX 0774-86-5589
ホームページ http://www1.kyoto-be.ne.jp/yamasiro-m/

＊交通案内
ＪＲ奈良線上狛駅下車徒歩20分
ＪＲ関西本線・学研都市線木津駅下車タクシー約5分
近鉄京都線山田川駅下車　タクシー約10分



難病専門医相談(筋・神経系難病)のお知らせ

△目　的　筋・神経系難病の病気や療養生活上での不安等について、専門医による個別相談を実施し、難病患者及び家族の不安を軽減すると共に適切な療養生活の促進を図る。

△日　時　6月20日(火)　午後1時～4時30分

△場　所　京都府山城南保健所

△対象者　筋・神経系難病患者（疑いのある者を含む）とその家族
（対象疾患）
脊髄小脳変性症、パーキンソン病関連疾患（パーキンソン病、進行性核上性麻痺・大脳皮質基底核変性症）、多系統萎縮症（線条体黒質変性症、シャイ・ドレーガー症候群、オリーブ・橋・小脳萎縮症）、多発性硬化症、筋萎縮性側索硬化症、ハンチントン病　等

△内　容　専門医による病気や療養生活等についての個別相談

△担当医師　独立行政法人国立病院機構　南京都病院
神経内科　杉山　博医師

△申込期限及び申込先
6月13日（火）までに、京都府山城南保健所　保健室　健康担当　へ申し込んでください（要予約）。
電話（0774）72－0981（直通）定員：6人

△参加費　無料

第21回男女雇用機会均等月間(6月)

厚生労働省では、6月を「男女雇用機会均等月間」と定め、職場における男女均等について労使を始め社会の認識と理解を深めるための活動を展開しています。

京都労働局においては、企業においてポジティブ・アクションの取組が進められるよう「男女雇用機会均等推進セミナー」を開催します。

男女雇用機会均等推進セミナー

☆日　時　6月26日(月)　午後1：30～4：00

☆場　所　京都府民総合交流プラザ　京都テルサ
東館3階大会議室
京都市南区東九条下殿田町70（新町通九条下ル）
ＴＥＬ 075－692－3400

☆対　象　企業の人事労務担当者、事業主団体、男女労働者等　約150名

☆内　容　○ 均等推進企業表彰
○ 事例発表
「我が社におけるポジティブ・アクションの取組」
オムロン㈱　日新電機㈱
○ 対談
「会社もトライ　女性もトライ
一人一人が活躍できる職場づくり」
京都女性の活躍推進協議会座長
弁護士　佐賀千恵美氏
オムロン㈱　日新電機㈱

☆申込先
㈶21世紀職業財団京都事務所　TEL 075－213－2091
（先着順。定員に達し次第締め切ります。）

☆問合せ
京都労働局雇用均等室　TEL 075－241－0504

平成18年度　国家公務員採用 Ⅲ種試験 受験案内

行政（一）１級の係員等を採用するための試験（高等学校卒業程度）

◇受験資格◇（学歴、性別は問いません。）

職　　種	受　験　資　格
行政事務、電気・情報、機械、土木、農業、農業土木、林業	昭和60年４月２日～平成元年４月１日生まれの者
税　　務	昭和61年４月２日～平成元年４月１日生まれの者

※この試験を受けられない者
(1)　日本の国籍を有しない者
(2)　国家公務員法第38条の規定により国家公務員となることができない者
・成年被後見人、被保佐人(準禁治産者を含む。)
・禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わるまでの者又はその刑の執行猶予の期間中の者その他その執行を受けることがなくなるまでの者
・一般職の国家公務員として懲戒免職の処分を受け、その処分の日から２年を経過しない者
・日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者
(注)日本国籍を有する者であっても外国の国籍を有する者は、外務公務員になることができません。

◇試験日程◇

申込受付期間	**６月20日(火)～６月27日(火)** ※申込書の提出はできるだけ**郵送(配達記録郵便)**にしてください。 **（６月27日(火)までの通信日付印有効）** ※申込先での窓口受付時間は**午前９時～午後５時**です。（土曜日及び日曜日は除く。）
第１次試験日	**９月３日(日)　12：00(受付)** 行政事務及び税務区分　　午後12：30(開始)～４：45(終了) 行政事務及び税務以外の区分　午後12：30(開始)～４：55(終了)
第１次試験合格者発表日	**10月５日(木)**
第２次試験日	**10月12日(木)～10月19日(木)** 第１次試験合格通知書で指定する日
最終合格者発表日	**11月９日(木)**

問合せ先　宇治税務署　総務課　電話　0774－44－4141

木津警察署ホットメッセージコーナー

新手の振り込め詐欺にご用心！

タウンページの継続広告料を装って現金を騙し取る、新手の振り込め詐欺の発生が続いています。

手口は、タウンページに広告を掲載している方を狙って、タウンページの広告と同じ記事と、その継続広告料の振り込み用紙を郵送してくるものです。

被害にあわないためのポイント
・広告掲載を依頼した先に、請求の事実を確認する。
・その際、封書に書かれた電話番号には絶対に電話しない。
・事実を確認しないまま、安易にお金を振り込まない。
・電話等で脅迫的な言動があった場合には、警察に連絡する。

空き巣被害なお急増中！

今年に入ってから、空き巣被害が15件発生しています。(H18．4．30現在)

□被害は、木津町・精華町を中心に山城町・南山城村等に及んでいます。

□留守にする時は、隣家への声掛や、ダブルロック等の堅牢な鍵の設置を、お願いします。

メール配信の活用を！

相楽郡７箇町村等36の行政、機関・団体で構成する「相楽地域安全連絡会議」のホームページでは、地域の犯罪、不審者情報の発信も行っており、ホームページからメールアドレスの登録が可能です。

また、携帯からは、次のアドレスに空メールを送って頂ければ登録確認メールが送付されます。

メールの案内に従ってご登録下さい。

○空メール登録アドレス　m-souraku@soura.jp

安心・安全な相楽郡まちづくりのため…

1．事件・事故発生状況の速報をしています。
2．皆様からの情報提供を待っています。
3．地域の安心・安全についてのご意見・相談事もお気軽にお寄せください。

URL　：http://www.souraku-anzen.net/
E-Mail：info@souraku-anzen.net
Fax　：0774－73－6677